

和花文様 十二月か月

1g FINE GOLD 999.9

和花文様は、好評につき申し込み締め切り日前に、予約が限定枚数に達してしまう可能性があります。お早めの予約申し込みをお願いします。 限定枚数：各月 100 枚。申込締切：2015 年 12 月 25 日(金)

世界的切手デザイナーで、「和花文様」の作者である森田基治氏の純金カード 12 か月シリーズ第 2 弾は、十二星座 (仮題) で、現在制作中。11 月には発表、12 月より各星座 100 枚限定で申込を開始致します。



九月<長月(ながつき)>
長月の由来は、「夜長月(よながつき)」の略であるとする説や、「稲刈月(いかりづき)」が「ねかづき」となり「ながつき」となったという説があります。

「萩(はぎ)・薄(すすき)文」
萩は古くから日本人に親しまれ、万葉集でも最もよく詠われています。中納言の名前に萩・薄を月見団子と共に月に供える風習があり、萩もススキも、昔の日本では山野に自生する身近な植物です。ススキの穂は、それを動物の尾に見立てて尾花(おはな)と呼ぶこともあります。

1g FINE GOLD 999.9 MITSUBISHI MATERIALS TRADING CORPORATION



十月<神無月(かんなぎ)>
神無月の由来は、この月に出雲の出雲大社に全国の神様が集まって、一年の事を話し合うため、出雲以外には神様が居なくなる月の意味と言われ、出雲では神在月と呼ばれています。

「菊・唐草(からくさ)文様」
菊は、奈良時代に中国大陸から渡来してもたらされました。花をモチーフにした文様は、正倉院にも残されていて、江戸時代には小袖の柄や、能楽家などにも盛んに用いられました。「からくさ」文様は、つる性の植物をモチーフにしたもので、もとはギリシャ、ローマのバリエット文様からとも言われていて、日本では様々なデザインに発展して来ました。

1g FINE GOLD 999.9 MITSUBISHI MATERIALS TRADING CORPORATION



十一月<霜月(しもつき)>
霜月の由来は、文字通り霜が降る月の意味です。他に、十を一区切りとして1月、そして十一を全(霜)月としたとの説もあります。また、「食物月(おしものづき)」の略であるとする説や、「潤む月(しほむつき)」、「未づ月(すえつき)」が訛ったものとする説もあります。

「橘(たちばな)・波に千鳥文様」
タチバナは、日本固有種の柑橘で、遠く垂仁天皇の頃にその名になったとされ、古くから様々な図案化され、文様や紋などに見られます。「チドリ」は、波と組み合わされて、平安のころから、衣類、調度、書画などに盛かれて来ました。

1g FINE GOLD 999.9 MITSUBISHI MATERIALS TRADING CORPORATION



十二月<師走(しわす)>
師走の由来は僧侶(師は、僧侶の意)が仏事で走り回る忙しさ(平安後期編「色文字類抄」)から、平安期から言われています。

「水仙(すいせん)・雪輪文様」
スイセンは仙が天竺に達し、新年の朝に咲く吉兆として親しまれてきました。雪は豊年の兆しとされて、桃山時代の頃に、能楽家小袖のデザインに盛んに使われるようになり、江戸時代になると、雪の輪郭をモチーフにした文様も増えるようになりました。

1g FINE GOLD 999.9 MITSUBISHI MATERIALS TRADING CORPORATION



ご注意：ここに掲載したデザインは、完成イメージですので、実際のカードとは部分的に異なる場合があります。